


人が動く、国土が躍動する。
国土交通省



みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所
下田港事務所

静岡県中・西部地域の みなとを考える市町村長懇談会を開催

2月21日“静岡県中・西部地域のみなとを考える市町村長懇談会”（中部地方整備局主催）を静岡市で開催しました。

本懇談会は、中部地方整備局と静岡県内中・西部地域の港湾が所在する4市5町の市町長により、港を活かしたまちづくりや地域振興における役割、課題などについて意見交換を行い今後の港湾整備に反映させる目的で開催しました。



各港の現状説明や港を取り巻く諸課題及び意見要望が各市町から出され、それに対し、藤田佳久港湾空港部長より国としての対応策、港湾管理者の立場で静岡県 櫻井克信土木部長及び大津光孝港湾総室長より地域の要請に応じた港湾行政の推進を目指すとの回答がありました。

意見交換では、小嶋静岡市長より今後の港湾行政の方向性について質問があり、梅原芳雄副局長より「“ものづくりの地” 中部にとっての港湾整備の重要性や物流の変化に対応する港湾の整備を県と連携して支援していく」という方向でまとめられました。



当日、出席をいただいた皆様は以下のとおり。

小嶋善吉静岡市長（清水港）、鈴木尚富士市長（田子の浦港）、石原茂雄御前崎市長（御前崎港）、池谷薫大井川町長（大井川港）、伊藤秀治榛原町助役（榛原港）、杉山年男相良町長（相良港）、伊藤賢太郎舞阪町長、古橋武司新居町長（浜名港）及び内陸コンテナ基地（インランドデポ）所在地として木本陽三浜松市助役の9名。（順不同）



「多彩な参加団体の連携による清水港再発見・再活用調査」参加団体情報交換会

昨年度、都市再生プロジェクト事業推進費を活用して実施する全国都市再生モデル調査で選定された“多彩な参加団体の連携による清水港再発見・再活用調査”の参加団体情報交換会が21団体、29名の参加者で2月9日清水日の出センター(マリビル)で開催されました。



〈活動・連携状況について
発表をする参加団体の代表者〉



〈事例発表をする
佐藤事務所長〉

始めに静岡市清水港振興課から昨年度の本調査の報告がされ、次に参加団体からそれぞれの活動や連携状況についての事例が発表されました。続いて質疑応答、意見交換がされ、参加団体からはこれからの行政との連携についてなどの活発な意見が出されました。

当事務所も現在までの“みなとづくり見学会”の実績、昨年11月に開催した“清水港ミステリー・オリエンテーリング”の概要などを佐藤事務所長が報告をしました。

ベ이스テージ下田で みなとのPRラジオを放送

南伊豆地域の新たな定期航路開発のため、2月17日～18日に南伊豆地区・首都圏海上高速航路推進協議会開催による、東京竹芝桟橋、伊豆大島、下田港の3箇所をジェットフォイルで結ぶチャーター運航が行われました。



〈公開放送中のブースの様子〉

当事務所ではこのイベントのタイアップ企画として、初日の17日にFMラジオ放送「K-MIX」の公開放送を行いました。

番組には石井直樹下田市長などの特別ゲストを交えて地元の見所などを紹介したり、また人気お笑いコンビ「エレキコミック」を招き、トークやCMを通じて“みなと”の役割や重要性をPRしました。

放送当日は肌寒い1日でしたが、会場のベ이스テージ下田には終始人だかりができるほどの来場者がありました。

清水港・平成16年コンテナ貨物取扱総個数が初の50万個(TEU)超

清水港の平成16年コンテナ取扱い個数が前年度より10.9%増の51万8,742個(TEU)となり〔速報値〕、初めて50万個(TEU)の大台を突破し、過去最高となりました。

清水港のコンテナ取扱いは3年連続で伸びており、主な理由としては新興津コンテナターミナルの供用開始、北米航路やアジア近海航路などが新しく開設され外貿定期コンテナ航路が充実したことなどが挙げられます。

コンテナ取扱い個数が50万個(TEU)以上の港は全国で東京、横浜、名古屋、神戸、大阪、博多に次いで7番目になります。



〈-15mの水深を有する
新興津コンテナターミナル〉

岩井国土交通副大臣が下田港視察

2月28日～3月1日にかけて、岩井國臣国土交通副大臣が伊豆地域を視察されました。

伊豆半島を南北に縦断する視察行程で、伊豆縦貫自動車道の整備や下田港外港防波堤の整備状況など伊豆地区の基盤となる事業をご覧いただきました。

また、地元市町村長との意見交換会も開かれ、石井直樹下田市長からは下田港外港防波堤の整備促進などについての要望が出されました。



〈下田港港内の視察の様子〉

事務所管内の主な動き

2/3	全国クルーズ船誘致連絡会	2/21	静岡県中・西部地域のみなとを考える市町村長懇談会
2/9	「清水港再発見・再活用調査」参加団体情報交換会	2/28～3/1	岩井國臣副大臣伊豆地区視察
2/14	清水港地震対策連絡協議会(図上訓練)	3/16	松崎港新港地区岸壁への静岡県防災船「希望」入港訓練
2/17	南伊豆地区 首都圏海上高速航路チャーター運航歓迎イベント		

日の出地区から三保半島を結ぶ渡船に "自転車"が載せられるようになりました！

清水港には三保半島に毎日運航している渡船があります。主に三保半島にある企業に勤める人達の交通手段として利用されていますが、平成16年にJR清水駅東口に近い江尻埠頭から貝島に行く新航路が誕生し、平成15年11月にオープンした『海づり公園』へのアクセスも便利になりました。

この渡船の「日の出～塚間」間に今年1月から"自転車"が載せられるようになり、羽衣の松などがある三保半島へのサイクリングが気軽に楽しめるようになりました。

清水港周辺を船と自転車で散策してみませんか？

★運航コース 江尻→海づり公園→日の出→貝島→塚間

★運賃(片道)

運航区間	中学生以上	小学生
江尻～海づり公園	100円	50円
江尻～日の出	200円	100円
江尻～塚間	300円	150円
日の出～塚間	250円	130円

※幼児は大人1名様につき1名様無料

★自転車積込料 1台 100円

(日の出～塚間 間のみ乗船できます)

運航についての詳細はエスパルスドリームフェリーへお問い合わせください。(0543-52-9161)



【清水港】



政令指定都市移行に伴う 住所表示の変更についてのお知らせ

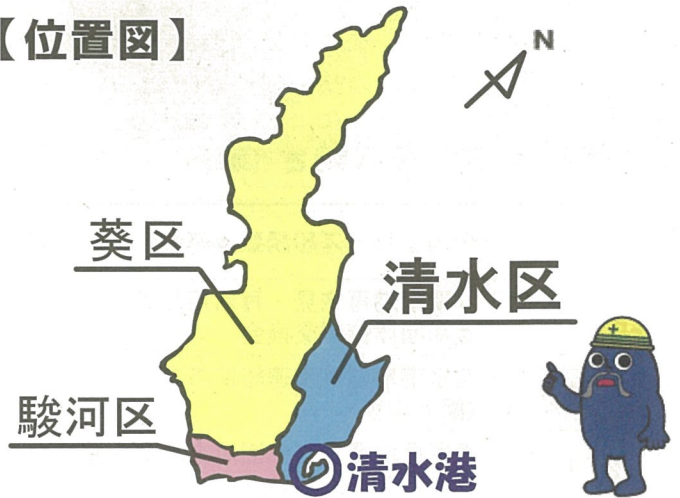
平成15年4月1日に旧静岡市と旧清水市が合併して誕生した新しい静岡市は、政令指定都市移行を目指してきましたが、平成16年10月の閣議で正式に政令指定都市になることが決定しました。

平成17年4月1日から政令指定都市に移行するにあたり新たに3つの行政区が設けられ、市民の投票によりそれぞれ「葵区」「駿河区」「清水区」と区名が決定しました。それに伴い4月1日から当事務所の住所表示が下記のように変更されます。

平成17年4月1日から
静岡市清水区日の出町7番2号

※郵便番号や電話番号等に変更はありません。

【位置図】



みなとづくり見学会


“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く、『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。



1月25日に下田市立浜崎小学校6年生(7名)が下田港事務所を訪れました。

見学のテーマは生徒さん自らの発案で決まった『防波堤工事の環境対策』で、作業基地内のPR棟でビデオやパンフレットを用いて港の説明を行いました。生徒さんから「工事で環境に配慮していることは何か？」などの質問がいくつも出されました。その後、船で防波堤周辺を中心に港内見学を行いました。

海とみなとの相談窓口

 全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれみなと

0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時(土日・祝祭日を除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください。